奄美大島・喜界島農業の動き

■令和７年１月

１　各地で「奄美たんかん出荷協議会」開催！

１月14日から16日にかけて，島内５か所の会場で「奄美たんかん出荷協議会」が開催され，全70名を超える生産者のもと活発な議論が交わされました。会議では，センサー選果での奄美たんかんの信頼確保を基本に，取引単価の向上を視野に積極的な販売対策に取り組むことを全体で確認しました。会議で多く聞かれた「異常気象下での品質確保につながる技術開発」を求める生産者の負託に応えるために，園振協大島支部技術部会を軸に，関係者一体となって取組を強化していきます。

奄美市会場での協議のようす

大和村会場での選果目揃いのようす

２　新規就農者セミナーを開催！技術や経営を学び，交流を深める

１月20日，奄美市笠利で「新規就農者セミナー」を開催し，奄美市と瀬戸内町の営農支援センター研修終了生と研修生，指導農業士，関係機関他35名が参加しました。現地研修では就農１年目２名の野菜と果樹ほ場，就農４年目の先輩農場を見学し，肥培管理等について情報交換を行いました。室内研修では営農の夢実現に向けた生活プラン設計と経営発展のための課題解決手法を学んだ後，グループ討議で各自，営農設計等を発表しました。今後も新規就農者の経営力向上を支援していきます。

実えんどう圃場でのようす

室内講義

３　奄美地域畜産若手生産者研修会を開催！

１月22日，奄美家畜市場で「奄美地域畜産若手生産者研修会」を開催し，新規就農者・関係機関合わせて26名が参加しました。自給粗飼料の活用及び収益性向上のための母牛・子牛管理の要点について学んだ後，笠利町の先輩農家の牛舎を訪問し，経営発展までの道のり，子牛育成マニュアルや哺乳ロボットの活用等について話を聞きました。研修中は，積極的に質問したり，牛舎を熱心に観察する姿が見られました。今後も，新規就農者の技術・知識の向上及び交流を図る場を設けていきます。

室内研修

農場視察